２６年度　校内研究構造図

研究主題

話し合いを深め、互いに学び合う児童、よりよい方向に行動できる児童の育成

－かかわって学ぶ活動・つたえて学ぶ活動・つながって学ぶ活動を通して－

研究構想図

【学校教育目標】

善く　生きる子

【めざす子ども像】

・課題を発見し、解決しようとする児童
・お互いを認め、尊重し合うことができる児童
・対象に興味関心をもち、主体的にかかわる児童
・自分の考えや思いを伝えることができる児童
・話し合いを深め、よりよい方向に行動できる児童

【ＥＳＤの活動テーマ】

探究【ふるさと　甚目寺　～かかわる　つたえる　つながる～】

【道徳推進テーマ】

「地域に根ざした創意工夫あるＥＳＤ活動と道徳教育の連携」
－道徳的心情の高まりが生み出すＥＳＤ活動－

思考力･判断力・表現力の高まり

学び合おうとする意欲の高まり

話したり聞いたりする力の高まり

活用【言語活動を通して思考力・判断力・表現力の育成】
・学習スキル（聞く・話す・話し合う）の獲得
・習得したことを活用して思考、判断、表現しながら学び合う活動
「関わって学ぶ活動」「伝えて学ぶ活動」「つながって学ぶ活動」を必要に応じて設定
・活用場面でのＩＣＴの効果的活用

習得【基本的な知識・技能の確実な習得】
・課題解決学習を中心とした楽しく分かりやすい指導
・学んだことを定着させる学習活動やまとめ

学習規律【学習規律の徹底】

授業改善等【教師の力量向上】
・校内授業研究会
道徳の研究授業、算数の研究授業
・学校訪問　道徳の一斉授業公開
・現職教育研究　　分科会「総合的な学習」の発表
・人権　　「県紀要」「あま市人研のまとめ」での発表